

「三股町交流拠点施設整備事業基本構想【素案】」に係る
パブリックコメントの実施結果及び町の考え方

町では、五本松団地跡地活用事業を「三股町交流拠点施設整備事業」と位置づけ、『健康と交流と賑わいの拠点づくり』をプロジェクトテーマに三股町交流拠点施設整備事業基本構想を策定するにあたり、三股町まちづくり基本条例第22条の規定に基づき、検討途中の素案を公表し町民等から意見等の募集を行いました（パブリックコメント手続き）。
については、実施結果及び町の考え方を公表します。

(1) 募集期間

令和2年2月26日 [水] ～令和2年3月10日 [火]

(2) 意見等の提出状況

提出方法	提出人数 (人)	意見等数 (件)
持参	1	1
電子メール	1	3
ファクシミリ	0	0
郵便	0	0
計	2	4

(3) 意見等と町の考え方

区分/項目	該当ページ	意見等番号	意見等の要約 (件数)	町の考え方 (修正する場合はその案)
<p>■第4章 交流拠点整備の基本方針 >4. 土地利用の考え方 >>(3) 土地利用、施設配置等に関するご意見①</p>	33	1	<p>駐車場の位置については、十分な再検討を望みたい。</p> <p>特に跡地の南側と東側は住宅地になっており、かつ北側には交通量が多くスピード違反の取り締まり場所(消防団の消防車格納庫横)道路があるため、車の出入りに危険が伴う恐れ(交通事故)を十分に回避できる場所にあるのかが不安です。</p> <p>近辺にりんどう保育園から図書館に伸びる道と宮崎銀行から三股幼稚園へ伸びる先の交差点では、信号機もなくこれまでに事故が多発していることから言えます。</p> <p>よって、周辺で事故が起こらないように道路の拡張や環境をもしっかりと整えた上で、図書館や文化会館のようにスペースの広い駐車場や駐車幅も余裕のある事が望ましいと思います。 (1件)</p>	<p>駐車場や建物の配置はこれからの検討となります。</p> <p>町民ワークショップでは、県道から入りやすい跡地北側に駐車場設置を望む声が多く上がりました。</p> <p>町内関係団体の代表者等で構成される検討委員会では、学生の登下校時の安全面の確保や交通事故の危険性などを考慮して設置するよう十分な検討を要するとの意見がありました。</p> <p>このような意見を踏まえて、町としましては基本構想(素案)でお示ししていますとおり、駐車場の配置は来客者の利便性のほか、歩道の歩行者や自転車の安全確保にも配慮していきます。</p> <p>ご指摘にあります道路や交差点など、団地跡地周辺の道路環境の整備も併せて、今後、検討していきたいと考えています。</p>
<p>■第2章 ニーズと公共性・公益性の整理 >1. ニーズの把握 >>(1) ヒアリング調査</p> <p>■第4章 交流拠点整備の基本方針 >3. 導入機能のイメージ</p> <p>■第4章 交流拠点整備の基本方針 >4. 土地利用の考え方 >>(3) 土地利用、施設配置等に関するご意見④</p>	12 ・ 25 ・ 26 ・ 33	2	<p>全天候用の散歩道があるとよい。</p> <p>多様な場所でのアンケートにも全天候型のスペースを希望する回答が複数あったように、いろいろな年代の方々が切望しているようです。町内では、朝夕散歩を日課にされている方を多くお見掛けします。</p> <p>健康的にも散歩は奨励されているので、是非とも雨の日でも自然を目にしながら、また晴れた日には風を感じながら歩けるような散歩道の設置をお願いしたいです。 (1件)</p>	<p>駅や役場、総合文化施設などの既存機能との位置関係を踏まえ、中心地ゾーン内に人の流れを生み出すことを意識した施設配置や歩行空間の整備を検討します。</p> <p>町民を対象としたヒアリング調査等では、町内に求められる施設や機能として、「雨天時や炎天下でも遊べる空間」「ゆったりとした、人が集える空間」などに対するニーズが高くなっています。</p> <p>そこで平成31年3月に策定した基本構想策定方針で、プロジェクトのテーマを『健康と交流と賑わいの拠点づくり』とし、健康的でハツラツとしたまちの暮らしと、日常的に人が集う賑わいに満ちたまちの将来をイメージしながら、本事業に取り組んでいるところです。</p> <p>事業に向けては詳細なニーズの把握を行い、散歩や運動ができるウォーキングコースの設置や遊歩道ビオトープなどの水辺空間の演出、天候に左右されにくい屋外空間の創出のための施設整備を検討します。</p>

<p>■第2章 ニーズと公共性・公益性の整理 >3 ニーズの分析 >>(3) 5つの課題への落とし込みと解決イメージ</p>	20	3	<p>あらゆる災害時に対応できる救難場所にもなれる等、柔軟な対応ができる施設。</p> <p>三股町の最新の施設となるのですから、未来を見通した、あらゆるソフト事業にも対応できるようなハードが整っているだけではない次世代の拠点となって欲しいです。 (1件)</p>	<p>防災施設としての検討も行い、『三股らしさ』を生み出す出発点となるような場所を目指します。</p> <p>現在、町の防災施設（指定避難所）を28箇所指定しています。防災拠点とするには、建築物に係る機能に様々な条件等をクリアしなければなりません。今後つくる予定の施設の機能には、防災の観点も踏まえ、非常時の利活用も想定した施設整備を意識し、必要に応じて防災担当課や建築担当課と協議していきます。</p> <p>また、基本構想（素案）には『三股らしさ』を生み出す出発点となるような場所と明記しています。この場所が次世代の拠点となるよう今の三股の良さを継承し、新しい三股の顔となるよう施設整備を進めていきます。</p>
<p>■第4章 交流拠点整備の基本方針 >2. ターゲットと目的</p>	24	4	<p>中高生も楽しめる施設にしていきたいです。お願いします。 (1件)</p>	<p>中高生だけでなく、多世代間の交流が生まれやすくする空間としての整備を行います。</p> <p>町民ワークショップの意見やヒアリング調査等の結果を踏まえ、「町民の暮らし」をターゲットにしています。また、町の抱える5つの課題（生涯学習・放課後子ども・親子ふれあい・健康づくり・地域活性化）のニーズ分析に基づいたハード整備を行うこととしています。その中で今の中高生が三股を好きになり、誇りを持ってもらえるような施設にしていきたいと考えています。</p>

補足（用語説明）